

あの日から6年

いま、あらためて 福島の放射能を考える。

日本女子大学家政学部は、震災と津波と原子力発電所の事故を被災した福島の人びとの安心・安全な生活のための支援を続けてきました。

あの日から6年がたちます。現在の福島の放射能の状況をふまえて、あらためて生活支援のあり方を考えます。

お話いただく塚田祥文氏の専門分野は環境放射生態学。放射線（能）の基礎知識や歴史、基準値の考え方から、土壌や大気中の放射性セシウム、内部ひばくと外部ひばく線量など、基礎から最新の知見まで紹介していただきます。



● 2017年 **8月7日(月)** 14:00~16:00

● 日本女子大学目白キャンパス **新泉山館1階大会議室**

*事前申込み不要 *参加費無料



【講演】2011年原発事故後の農業環境における放射性セシウムと作物への移行

塚田祥文氏

(福島大学環境放射能研究所教授)

主催：日本女子大学特別重点化資金研究グループ
共催：日本女子大学家政学部
問い合わせ先：児童学科・澤田 (sawada@fc.jwu.ac.jp)

※この講演会は、日本女子大学特別重点化資金「東日本大震災による被災地の生活支援活動を通して「自学自動」の実践力を育成する(その4)」により実施しています。